

千葉日報 9月14日

「告発、妥当性ない」

成田の元教諭が訴え

署名活動に生徒名簿

千葉県立成田北高校の元教諭、秋葉幸一さん（62）＝成田市大清水Ⅱが在職中に得た生徒の個人情報を使い、卒業生に安保法案反対の署名を求める手紙を送った問題で、秋葉さんが13日、富里市内で記者会見した。県教育委員会による刑事告発について「妥当性がなく、教育現場への見せしめ」として不起訴にするよう訴えた。

秋葉さんは定年退職した2016年3月、在職中に持ち出した生徒の氏名や住所などの個人情報を使い、手紙と署名用紙などを卒業生335人に郵送。前年9月に成立した安全保障関連法へ反対する署名を求めた。

県教委は16年5月、個人情報

報の無断持ち出しと目的外使用に当たるとして勧告処分とし、

秋葉さんも受け入れた。ところが約1年後の17年5月になって、県教委は個人情報保護条例違反の疑いで秋葉さんを県警に刑事告発。翌月には県警の自宅搜索を受け、計10時間以上にわたり任意の事情聴取も受けたという。

弁護士とともに会見した秋葉さんは「卒業生の幸せを願って手紙を出したことが刑事罰となるのは納得できない」として、不正な利益を図る目的での使用ではないと主張。秋葉さんを支援する市民団体の吉岡秀樹代表（70）も「刑事処分を受けるほどの行為なのか。県教委の対応は行き過ぎ」と訴えた。今後は地検に起訴しないよう求める要請書を提出する方針。

朝日新聞 9月14日

●生徒情報を持ち出した元教諭を「守る会」

在職中に持ち出した生徒の個人情報を使い、安全保障関連法への反対署名を求める封書を送ったとして、県教育委員会が県個人情報保護条例違反容疑で告発した県立成田北高校の元教諭の男性（62）について、有志が「守る会」を立ち上げた。13日に富里市内で記者会見し、起訴しないよう求める要請書を千葉地検に出すことを明らかにした。男性は昨年3月、定年退職間際に生徒約3千人分の個人情報を持ち出し、卒業生335人に封書を送付。県教委が今年5月、成田署に告発した。有志は元中学教諭や主婦ら約40人。男性は会見で「刑事罰として妥当性はない。人権を踏みにじられている」と話した。